

世界のデング熱流行状況(更新 38)

2010年10月12日 ProMED 情報

(1) フィリピン(全国)[mb.com.ph]

10月11日、同国保健省国立疫学センター(NEC)によると1月～9月25日までの患者数は98,934名で、昨年の同期より135%の増加で、死亡患者も644名報告されています。昨年は、全国で患者42,075名が報告されました。

(2) ベトナム[Radio The Voice of Viet Nam(VOV)News]

同国保健予防当局によると、10月上旬までにデング熱患者数は昨年より6.3%減の約80,000名であったが、死亡患者数は59名で昨年より9.1%増であったとのこと。

(3) オーストラリア(北クイーンズランド州)[ABC News]

保健当局によると、北クイーンズランド州ケアンズで患者13名が報告されました。このうち12名はケアンズ市内のパラマッタ Paramatta Park の住民でデングウイルス1型の感染で、残りの1名は北ケアンズの住民で2型の感染でした。

(4) ドイツ(クロアチアからの輸入例)[個人情報(医師)]

10月1日、ヨーロッパ疾病管理センターによれば、ドイツテューリンゲン Thuringia 出身の72歳の男性が、南クロアチアの Orebic、コルチューラ Korcula およびドゥブロブニク Dubrovnik 地域で休暇中、デング熱に感染したとのこと。

(5) プエルトリコ[The Miami Herald]

プエルトリコ当局によると、米国カリブ海領域で死亡患者26名が記録されました。数週間で患者数約900名が報告され、今年はいくまでの患者数は12,000名となりました。1998年には死亡患者19名と患者17,000名が発生しました。

(6) ホンジュラス[La Prensa]

死亡患者74名のうち44名は首都に住んでいました。デング出血熱患者2,551名が報告されました。

先週、新たにデング熱患者1,060名が報告され、患者数は合計64,228名になりました。患者の半数は中央地区 Central District からの報告です。

(7) ブラジル(Paraiba)[PB Agora]

パライバ Paraiba 州保健事務局によると、1月～10月2日までに、患者4,391名が発生し、そのうち4,314名は古典的デング熱患者、50名はデング熱合併症、24名はデング出血熱、3名はデング熱ショック症候群(DSS)でした。3名が死亡しました。

(8) マレーシア、インド、パキスタン、ベネズエラ

マレーシアのジョホール Johor 州では、1～9月までに患者3,157名と死亡患者10名が報告されました。

インド、デリー-Delhi では、10月6日現在、患者3,782名が報告されました。またウッタル・プラデーシュ Uttar Pradesh 州では、10月4日に血液検体35名のうち17名がデング熱陽性でした。同州ラクナウ Lucknow では、10月10日現在、患者24名が入院し、3名が死亡しました。

パキスタンでは、10月11日現在、少なくとも患者533名が報告されました。患者のほとんどと死亡患者5名がシンド Sindh 州で報告されました。カラチ Karachi では、10月4日から、毎日デング熱患者20～30名が報告されました。

ベネズエラ、ヌエバエスパルタ Nueva Esparta では、9月19～25日間に患者79名が発生し、2010年での患者数は1,258名となりました。また、ポリバル Bolivar では、200名の Las Nieves 共同体の少なくとも50%がデング熱に感染しました。患者の多くは子供です。